

[成果情報名] 栽培が容易で高品質果多収生産が可能なスモモの晩生品種「太陽」

[要約] スモモ品種「太陽」は成熟期が 8月上旬で果皮は濃紅で果肉は硬い。収量は約 2,200kg/10aと多く、果実重は約 117 g と重く糖度は14と高い。花芽着生率や結実率は既存品種よりやや低いが、結果枝の長さ別割合は中・長果枝が多く、2本主枝棚仕立てでは栽培が容易である。

[キーワード] スモモ、太陽、花芽着生率、結実率、2本主枝棚仕立て

[担当] 長崎県果樹試験場・落葉果樹科

[連絡先] 電話 0957-55-8740、電子メールrakuyo@afes.pref.nagasaki.jp

[区分] 九州沖縄農業・果樹

[分類] 技術・参考

[背景・ねらい]

スモモの高品質で多収栽培が可能な晩生品種を選抜する。

[成果の内容・特徴]

1. 「太陽」の萌芽期及び開花期は「ソルダム」より早く、「太陽」の成熟期は 8月上旬である。果皮色は濃紅で果粉は多く、肉質は硬く、日持ちは良い(表1)。
2. 「太陽」の果実重は約 117 g で「ソルダム」と比較して約15 g 重く、着色は優れ、「太陽」の糖度は約14で「ソルダム」より 2.5以上高い(表2)。
3. 「太陽」の収量は約 2,200kg/10aで、「ソルダム」より約 300kg以上多く、「太陽」の生果率は約87%で「ソルダム」よりやや高い(表3)。
4. 「太陽」の花芽着生率や結果率は「ソルダム」より低いが、結果枝の長さ別割合では「太陽」は短果枝の割合が低く、中、長果枝の割合が多い(表4)。

[成果の活用面・留意点]

1. 棚仕立て 2本主枝に整枝した雨除け栽培の結果である。

[具体的データ]

表 1 生育相と果実形質 (1999年～2002年平均)

品 種	萌芽期 (月日)	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	果皮色	果肉色	果粉	肉質
太 陽	3.12	3.18	8. 8	濃紅	乳白	多	硬
ソルダム	3.16	3.25	7.16	緑赤	赤	多	中

表 2 果実品質

品 種	年度	果実重 (g)	果形指数 ^z	着色歩合 ^y	糖度 (Brix)	pH
太 陽	2000	127.4	99.5	9.8	13.5	5.22
	2001	118.2	104.5	9.3	14.6	4.78
	2002	105.6	99.3	8.9	13.8	4.41
ソルダム	2000	100.1	97.5	5.2	10.8	5.50
	2001	108.3	100.4	4.5	11.2	5.12
	2002	98.1	102.4	5.2	12.3	4.26

^z 横径 / 縦径 × 100

^y 果実全面に着色した場合を10の指数で表示

表 3 収量、着果密度、樹冠占有面積及び生果率

品 種	年度	収量 (kg/10a)	着果密度 (果/m ²)	樹冠面積 (m ²)	生果率 ^z (%)
太 陽	2000	2,313	18.2	28.7	88.5
	2001	2,276	19.3	28.3	80.5
	2002	2,136	18.4	32.7	91.6
ソルダム	2000	2,691	26.9	17.0	82.5
	2001	1,819	16.8	24.0	77.6
	2002	1,339	13.8	26.6	81.8

^z 収穫した果実数に対する優品以上の割合

表 4 樹体の特性(2002年 1月調査)

品 種	花芽着生率 (%)	花芽密度 ^z (果/10cm)	結果密度 ^z (果/10cm)	新梢長 ^y (cm)	結果枝の長さ別割合(%)		
					5cm未満	5～20cm	20cm以上
太 陽	77.1	17.3	31.1	24.0	64.5	16.4	19.1
ソルダム	83.9	22.1	49.8	36.5	89.8	4.3	5.9

^z 側枝10cm当たりの花芽数、満開20日後の結果数

^y 側枝先端の発育枝長

[その他]

研究課題名：特定果樹の栽培法

予算区分：県単

研究期間：2000～2003年度

研究担当者：寺井 理治、谷本 恵美子、田中 実、中倉 建二郎